

食品安全委員会 in 広島県
学校教育関係者を対象とした食品安全に関する意見交換会
～食品の安全性について考えよう～

平成28年9月28日
広島県庁本館301会議室

参加者からの御意見・ご質問とその回答

○：食品安全委員会
□：広島県
◇：広島県教育委員会

【ノロウイルスに関する質問】

Q1：従事者に下痢の症状があるとき、また家族に下痢症状があるときの調理従事についてどう判断したらよいか。

◇：症状が出ていれば病気休暇に該当する場合もあるが、症状がなく陽性反応がある場合は食品に直接触れる調理作業に従事することは控えるべきであり、例えば、従事内容を事務的な内容に変更するなどの対応が考えられる。

会場意見：

- ・民間の調理業務委託会社では、家族にノロウイルス感染が疑われる場合、家族が治癒し、本人が罹患していない証明を提出するルールとなっている例がある。
- ・下痢の症状がある場合、市教育委員会に相談の上、検便を実施させる市がある。この際の検査費用は市が負担する。検査の結果、陽性の場合は5日後に再検査を実施し、陰性になるまで検査する。その期間は有給での対応となっている。

Q2：児童用のトイレでは児童は上履きを使用し、汚染を広げてしまっているがどのように対応すればよいのか。栄養士はどのトイレを使用すべきなのか。

◇：児童がトイレ用スリッパと上履きを使い分けるのが基本。栄養士も調理場に入る立場であり、使用するトイレは児童用と区別する必要がある。調理場にトイレがなく、やむをえず児童と同じトイレを使用する場合は、扉に貼紙をする等によって区別することが望ましい。

Q3：冬季には教員が各教室のドアや机等を、消毒剤を噴霧して水拭きをしている。次亜塩の使用について、すぐ拭き取ると効果はないのか。また、水拭きをすることはどうか。

○：すぐに拭き取ると効果があまり期待できない。効果の点からは、次亜塩で湿らせた雑巾等をかぶせてしばらく置く方が良い。また、二次感染を防ぐために、使用した雑巾は廃棄することが望ましい。次亜塩は熱や光で自然に分解していくものであるが、金属のサビが気になるのであれば、すぐに水拭きをすると効果がなくなるので、効果の点からは乾拭きの方が良い。

□：消毒用の塩素バケツは、食器を漬け込んで有機物が入ったりすると、塩素濃度が低下し消毒効果が落ちることにも注意頂くと良い。

Q 4：トイレの洗浄について使用後毎に消毒（便座をふく等）が必要なのか。

□：使用後毎に消毒することまではマニュアルでは規定されていない。ただし、ノロウイルスは清潔なところには定着しにくいこともあり、ノロウイルス汚染防止の観点から、使用後毎等に消毒することは効果が期待できる。

Q 5：給食中に嘔吐症状はないが、明らかなノロウイルスの症状を持っている児童・生徒の食器は汚染されているのか。返却方法についてマニュアルのようなものはあるか。

□：子どもの場合、手洗いが厳密にできていないこともありリスクは高い。

大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく対応が基本である。汚染された可能性のある食器は 200ppm 以上の塩素消毒後に洗浄殺菌作業をすることが望ましい。

老人給食施設の例では、明らかに感染症が発生している際は使い捨ての食器を使用するよう指導することが多い。また清潔区域には汚染食器を持ち込まず、生活区域で残さを処理し、塩素バケツに漬け込んでから調理場にもちこみ、洗浄は、他の食器を行った後に行うよう指導しているので、参考にしてほしい。

Q 6：使い捨て手袋の適切な着脱方法について。

◇：表面を汚さないように、袖口の部分を持ち、手にはめる。脱ぐ際は袖口の部分を持ち、表裏逆になるよう外す。外した手袋を反対の手に持ち、袖口から表裏逆になるようまとめて外し、廃棄する。

【その他の質問】

Q 7：調理実習での卵の取り扱いはどのようにしたらよいか？卵の洗浄や手洗いの必要性はどうか。

◇：卵を洗浄することについては、学習指導要領には明示されていない。専門性のある栄養士が行う調理実習であり、サルモネラの危険性、手洗いの必要性、割卵後の菌の増殖等について情報を伝えることもできるし、実習中に余裕がなければ給食時間などの場面も想定できる。

□：卵は GP センターで衛生管理されているため、サルモネラ菌による汚染は減少している現状がある。調理実習であることを考えれば、卵を触ったあと、手洗いせずに生サラダを作らないなど、肉や魚の扱いと同等な衛生意識を指導すると良いのではないかと。また、割卵すると菌が増殖しやすくなるため、長時間放置しておくことがないよう、留意してほしい。

Q 8：被災地付近の食材を使用することに敏感な保護者への対応は？

○：食品の放射性物質の測定値は国立保健医療科学院が公開しているので参考にしていたきたい。市場に出回っているもののほとんどが測定限界未満、検出限界付近で体に影響があるものは出回っていない。